

# ミステリ読書案内

2023. 7. 14 発行元

第497号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 小路幸也の代表作

小路幸也は現在も活躍を続けている作家。『東京バンドワゴン・シリーズ』が有名だが、ミステリの他に家族小説、青春小説、熱血もの…各種の作品を手掛けている。今回はミステリ系統の作品の代表作を紹介。

### 「東京バンドワゴン」は別にして…

小路幸也と言えば代表作として『東京バンドワゴン・シリーズ』を上げている場合が多い。私も賛成するし、新刊が出るたびに紹介してきた。今回は『バンドワゴン』を除いての話である。ただ、『花咲小路シリーズ』や『マイ・ディア・ポリスマン・シリーズ』も何回か取り上げたことがある。それ以外となると選ぶのが難しくなる。

ということで第一に『HEATBEAT』を、第二に『モーニング』を選んだ。共に短いシリーズものになっている作品。

第三が難しい。結局『東京カウガール』にしたが、『壁と孔雀』も良い出来。『探偵ザンティピー・シリーズ』はいかにもハードボイルドらしい作品だがやや小粒。『札幌アンダーソング・シリーズ』も同様か。安心して読める作品ばかりなのだが、ミステリに属するかどうかの境界線に位置する作品も多いので、この『ミステリ読書案内』にびたりと当てはまるわけではない。

短編集で言うと『駐在日記』とか『テレビ探偵』などもあるけれども…。私なりの『小路幸也ベスト表』をつくるのももう少し先に伸ばそうかとも思っている。

### NO.3「東京カウガール」

2017年PHP研究所から出た本。『WEB文蔵』に連載された後単行本になった。『このミス』のリストには取り上げられていない。ミステリに分類しているのは私だけ？

カメラマンになることを目指している大学生・木下英志の視点で語られる。恵比寿の夜十時。人気のない公園で見たのは、喧嘩などを生業としているような男三人を相手に、早業で完膚なきまでに叩きのめす若い女性。さっと姿を消したが、後で英志はその女性が車椅子に乗った白髪の老人を車に乗せる場面を見た。その横顔は英志にある人を思い起こさせたのだった。「カウガール」と名付けられた女性が持っている過去が少しずつ見えるようになって、英志は…。

### NO.1「HEATBEAT」

2005年東京創元社から出た本。『ミステリ・フロンティア』の中の一冊。小路幸也の長編第五作に当たる。本書の続編が『HEATBLUE』で脇役が活躍する。

短い章で構成され、二つの物語が交互に配置された凝った作り。柱になっている方の物語は、高校卒業の時の約束を守ろうと僕(原之井)がアメリカから帰国するところから始まる。十年前にかすかに魅かれあっていた男女。優等生で《委員長》と呼ばれていた男と素行不良で問題児と見られていた少女・ヤオ。「ヤオが自力で人生を立て直すことができたなら、十年後にあるものを渡そう…」と言って別れた。十年経って、高校の校門の前に立つと、やってきたのはヤオの夫と名乗る男。「ヤオは三年前から行方不明になった」という。…僕はヤオの行方を探そうと決心する。一人では難しいので、当時を思い返して「巡矢」に電話を入れる。巡矢はたちまちに良き相棒になってくれる。二人で探すヤオの行方…。もうひとつの物語は少し漠然としている。小学五年生のぼく(裕理)は大きな屋敷に住んでいるらしい。周囲を何人もの大人が取り囲んでいるのだが、ぼくの母親は七歳の時に行方不明になった。屋敷には幽霊が出るという噂が広まって…。さて、どのように…。

### No.2「モーニング」

2008年実業之日本社から出た本。『ダイ・シリーズ』の一作目になり、本書の後『コーヒーブルース』『ビタースイートワルツ』『スローバラード』と続いていく。『このミス』のリストには取り上げられていない。ミステリなのか一般小説なのか区別することは難しい。

福岡での葬儀。大学で四年間一緒に過ごした仲間の河東真吾が事故で亡くなった。私(弓島大・ダイ)と淳平、ヒトシ、ワリョウは見送りが終わった後、飛行機で帰る予定だった。でも淳平が「レンタカーを借りて気の済むまで走って、適当な場所で自殺する」と言った。急遽、自殺を思いとどまらせるために皆で東京まで一緒に車で帰ることに変更する。そこから十九歳の頃を回想する長い旅が開始された。現在四十五歳になった五人の大学時代の出来事が徐々に徐々に語られていく。共同生活をしながらバンドを組み、昼夜を一緒に過ごした仲間…。淳平「俺が死ぬ理由。思い出してくれたら死ぬのをやめる」ストーリーは過去と現在を行き来しながら残された四人の旅が続く。『バンドワゴン・シリーズ』と同様、人と人とのつながりをドラマ仕立てで描くのは小路幸也の得意技。シリーズ続編でもダイを中心にした長年の成長過程をたどることができる。